

動かしがたい深刻な与条件：人口減少， 少子高齢化…

今後10年の喫緊の課題：低炭素社会， 財政健全化…

京都市基本構想に おける関連記述

産業・商業

京都に地盤を置くさまざまな産業活動がさらなる活力を得るには、互いの技術にも企業文化にも厚い信頼を置き、相互にきめ細かく支え合うような産業連関都市、より具体的には、高度情報社会、環境調和型社会、高齢社会に対応した京都独自の産業システムを構築していく必要がある。さらに、地域に密着した商業振興を図り、奥深い魅力と暖かいおもてなしの心をもつ観光都市づくりを進めることが重要である。

これまでの主な取組

「京都市スーパーテクノシティ構想」の推進

- ・ 新産業創出，第二創業への支援への取組
- ・ 魅力ある立地環境の整備への取組（桂イノベーションパークの整備等）
- ・ 新規成長分野への支援への取組（「京都環境ナノクラスター」の形成，京都バイオシティ構想の推進等）
- ・ 産学公の連携促進（京都産学公連携機構の設置等）

「京都市伝統産業活性化推進計画」の推進

- ・ 首都圏でのPRイベントや和装アンテナショップの開設など新たな販路支援の取組
- ・ 「伝統産業の日」によるイベントなど伝統産業についての関心と理解を深める取組
- ・ 「京都市産業技術研究所」等による技術指導や後継者育成のための取組 など

「京都市商業ビジョン2004」の推進

- ・ 「地域商業ビジョン」の策定など地域に密着した商業振興への取組
- ・ 商店街の環境整備・競争力強化への支援，「商い創出事業」など個店の活性化の支援，の取組 など

論点1 現状と課題

- ◇ 活かすべきチャンス(追い風)は？ 放置できない問題(向かい風)は？
- ◇ 活用できる資源(強み)は？ 克服すべきこと(課題)は？

外部環境分析（施策を推進するうえで、追い風又は向かい風となる変化や社会的な状況）	
追い風	向かい風
<ul style="list-style-type: none"> ○中国をはじめとした新興国における市場の拡大 ○市場の拡大が期待されるコンテンツ産業 ○低炭素社会の実現に向けたエネルギー・環境技術の進展 ○国から「環境モデル都市」に選定（平成21年1月23日） ○首都圏における情報発信拠点の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界同時不況と本格回復に時間を要する京都の経済・雇用 ○アジアの台頭と価格競争の激化，生産拠点の国内外への移転（産業の空洞化） ○ライフスタイルの変化による伝統産製品の需要低迷 ○事業者等の高齢化，後継者不足等による産業・商業従業者数の減少 ○京都市人口の減少による商業市場規模の縮小
京都の現況分析（他都市等と比較して、京都の現況が優位又は劣位である事項）	
京都の強み	京都が解決・克服すべき課題
<ul style="list-style-type: none"> ○市内総生産に占める製造業の構成比が最も高い ○伝統産業からハイテク産業まで全国有数のものづくり都市 ○付加価値の高い京都市のものづくり（製造業） ○世界最先端の研究開発型企業が集積する都市 ○日本の伝統産業の拠点 ○学術研究機関（知）の集積 ○「京都」という都市のブランド力 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業用地の確保が難しい京都市の企業誘致 ○市内製造業の事業所数の減少は、全国平均よりも高い ○厳しい経営が続く伝統産業 ○伸び悩む商業

論点2 政策の基本方向

◇ 今後10年間の基本的考え，価値観は？

<現在の方向性>

- ものづくりの視点から産業経済に活気あるまちを実現（京都市スーパーテクノシティ構想）
- 「京もの」のある暮らし 京都発スローライフ～真に豊かな文化的な生活～の提案（京都市伝統産業活性化推進計画）
- 京都という都市にふさわしい，京都市民・観光客などに貢献する商業を目指す（おいでやす京の商い～京都市商業ビジョン2004～）
- 生鮮食料品等の取引の適正化及び流通の円滑化（京都市中央卸売市場業務条例）

<今後の産業・商業振興策の検討に向けた取組>

- 「新・京都市産業振興ビジョン（仮称）」の策定
 - ・ 計画期間：平成23年度～27年度（5箇年）
 - ・ 平成21年11月から委員会を設置し，現在検討中
- 「京都市商業活性化アクションプラン（仮称）」の策定
 - ・ 計画期間：平成23年度～25年度（3箇年）
 - ・ 平成22年度より検討予定

<今後の産業・商業振興における基本的な考え方>

- ・ 京都力（大学，企業，人財，文化・芸術等）を活用し，
- ・ 都市の吸引力（ひと，もの，情報）を高め，
- ・ 環境・健康・観光・コンテンツ・デザインなど様々な分野が連鎖した，
- ・ 付加価値の高いものづくり・サービスなど新たなイノベーションを創出する，
- ・ 京都型経済モデルを構築する。

論点3 市民と行政の役割分担と共汗

◇ 政策の推進に当たって市民や行政が行うべきことは？

論点4 10年後に目指すべき姿

◇ 10年後のあるべき姿やそれが達成された状態を測る指標・目標値は？